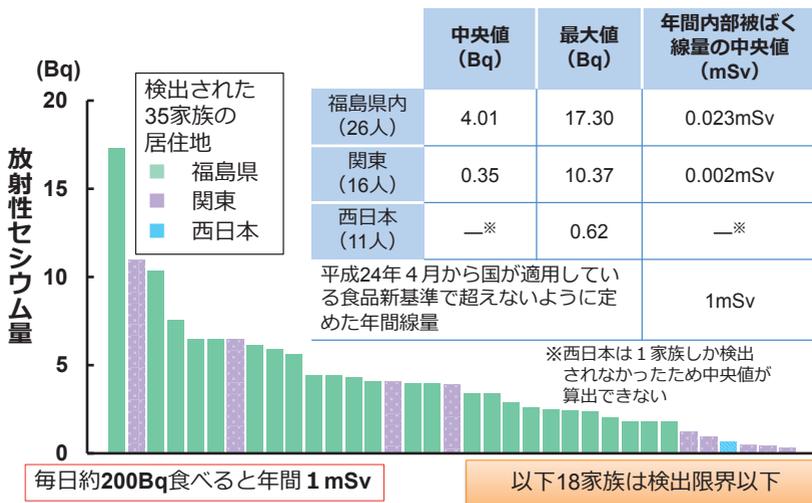


流通食品の摂取による被ばく線量

家族1人当たりの1日の食事に含まれていた放射性セシウムの量



Bq : ベクレル mSv : ミリシーベルト

出典 : Koizumi et al., Environ Health Prev Med, 2011より

平成23年12月、福島県、関東圏、西日本圏の53家族を対象に、当時流通していた食品を日常的に摂取した場合に、内部被ばく線量はどれくらいになるかを調査した結果が示されました。福島県、関東圏、西日本圏の3地域の一般の家庭で用意される食事について、それぞれに含まれる放射性セシウムの量が調べられました。その結果、福島県内の家庭で出される1日分の食事に約4ベクレルのセシウム（中央値）が含まれていることが分かりました。そうした食事を1年間食べ続けた場合でも、セシウムの被ばく線量は年間で0.023ミリシーベルト程度で、年間の許容線量（1ミリシーベルト）の43分の1に収まるとの結果でした。含有量が多い場合（最大値の17.3ベクレル）でも0.099ミリシーベルトで許容線量の10分の1程度の値でした。

関東圏の家族の食生活では年間でも0.002ミリシーベルト程度で、年間許容線量の500分の1程度でした。

なお、食品中の放射性物質の最新情報は、厚生労働省ウェブサイトにおいて随時公開されています。（厚生労働省ウェブサイト「食品中の放射性物質への対応」(URL) http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

本資料への収録日：平成25年3月31日

改訂日：平成27年3月31日